

輝くインストラクターの  
耳と喉を守る  
アクア・エアロピクス  
専用音響システム

スタジオインストラクターにとって音量はなくてはならない要素です。中には、1日何時間も大音量のスタジオにいるという人もいらっしゃる。レッスンを盛り上げようとする時、音量を上げることも多い。だが、専門家によるこの音のレベルが90dBを超えている場合、人間の耳を正常に保つには1日11-2本の許可範囲だといっている。音響では100dB以上になっている場合も多い。この一週以上のレベルの音響に長時間さらされることにより、耳鳴りやめまい、「聴覚過敏」といふ耳の病気に陥ることがある。この注意が必要である。

株式会社文胸センターが運営する「スポーツスパアスリエ」では、「世界でもっと早く「ラッピングサウンドシステム」を導入し、音響をそれほど高めなくてもメンバーもインストラクターも快適にグルーブエクササイズが楽しめる環境を提供している。同社で特設開発を担当する中村良明さんはこう話す。

「以前は大きなスピーカーをスタジオの4隅に設置しているところが多くありましたが、この方法ではスタジオに響きが行きわたらないうえ、スピーカーが近くの間接音が高くなり、また音の広がりやスピーカーの向きに設定されるため、位置によって聞こえる音の大きさに差が生じていました(図1)。この方法に対して、ラッピングサウンドシステムでは、小さなスピーカーを方向に向けてるように組み合わせたものを

Instruction & Manners Bible >> **Part.5**

# 輝くインストラクターの音響講座

音量を高めなくても音が届く、声が届く  
ラッピングサウンドシステムをご紹介します!

スタジオの中央部何処かに振り付けるので、あまり音量を上げなくてもスタジオ全体に均等に響きが行きわたらせることができるのです(図2)。

大きなスピーカーで音を出すのではなく、小さな複数のスピーカーで音を出す方法によりインストラクターの声もすべての音響に均等に届けることができます。ラッピングサウンドシステムはインストラクターの喉も守ることのできるのです。

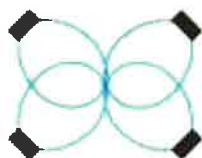


株式会社文胸センター代表取締役社長  
中村良明さん

おしゃれなデザインと快適な空間が魅力の「スポーツスパアスリエ」の施設開発も一歩に当たっています。



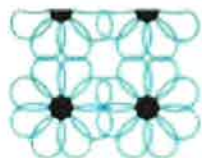
図1  
従来のサウンドシステム



従来のサウンドシステムでは4隅のスピーカーから大音量を出すことで音が行きわたらせていた



図2  
ラッピングサウンドシステム



ラッピングサウンドシステムでは16個以上のスピーカーから多方向に音を出すので均等に音が行きわたる



スポーツクラブだからこそ  
音へのこだわり、環境へのこだわり

株式会社エヌエスエーの音響設備

音響設備は、あらゆる音響を常に考え、安全に保つための音響設備を日々研究を続けています。

株式会社エヌエスエー代表取締役社長  
野澤 一



アクアピクス専用音響設備

CDの音のまじり、音響の響きもスムーズに操作が出来ます。耐久性や安全性も備わっています。



エアロピクス専用音響設備

音響のオーディオとマイクにより、ラッピングサウンドシステムの音響にも大音量の音も届いています。[N.S.B. Wrapping Sound System]スピーカーは、スピーカーの寿命に長く、安全な音響設備です。音響の耐久性に優れたスピーカーです。今までにないような音響と一歩進んで

